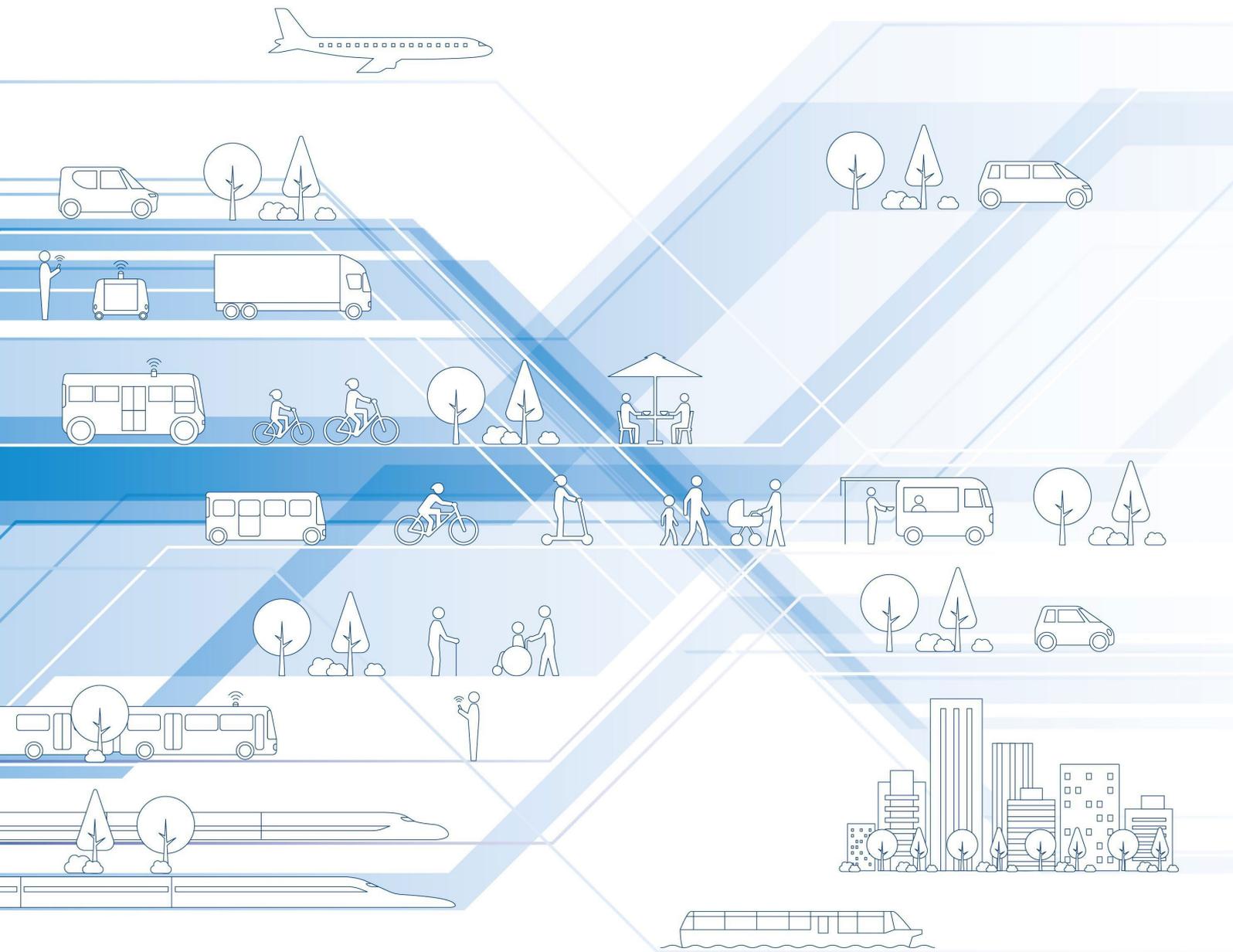


名古屋交通計画 2030

～最先端モビリティ都市の実現に向けて～



令和5年3月 名古屋市

はじめに

現在、人口構造の変化による移動の減少や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う日常生活・働き方の変化に対応した交通のあり方が問われています。また、SDGsの達成やカーボンニュートラルの実現のほか、自動車産業の「100年に一度」と言われる大変革、IoT・AIや自動運転などの進展といった様々な時代の変化に直面しており、交通分野が重要な役割を担う社会が到来しています。

今後、名古屋においては、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の開催により多くの人を訪れるほか、東京-名古屋間を約40分で繋ぐリニア中央新幹線の開業によりスーパー・メガリージョンが形成されることで、人の動きが大きく変化し、世界に向けて名古屋を知ってもらおうまたとないチャンスがやってきます。

このような状況を踏まえ、将来に向けた新しい総合交通体系の構想と、持続可能な都市の発展を支える交通施策に関する計画を策定するため、令和元（2019）年7月に名古屋市交通問題調査会へ「まちづくりと連携した新たな総合交通体系について」諮問を行い、令和4（2022）年2月に「名古屋交通戦略2030」が答申されました。

本市では、この答申を踏まえながら、今後取り組むべき交通施策について検討を重ね、このたび、「名古屋交通計画2030」を策定しました。この計画では、3つの基本方針と9つの施策の方向性を基に、「最先端モビリティ都市」の実現を掲げています。これは、交通の新たなチャレンジとして、豊かな都市空間や交通ネットワークといった既に有しているストックと、モビリティを中心とするモノづくり産業の拠点として世界をリードする愛知・名古屋だからこそできる先進技術の活用により、持続可能で質の高い公共交通を中心とした誰もが快適に移動できる都市を実現するものです。

本計画をもとに、まちづくりと連携した新たな総合交通体系の構築を市民のみなさまとともに進めていきたいと思っております。

目次

第1章 名古屋交通計画 2030 の策定にあたって

1	目的	・・・	1
2	これまでの交通計画の取組	・・・	1
	（1）総合交通政策の経緯	・・・	1
	（2）なごや新交通戦略推進プランの進捗状況・総括	・・・	1
3	名古屋交通計画 2030 の位置づけと目標年次	・・・	2
	（1）位置づけ	・・・	2
	（2）目標年次	・・・	2
	（3）主な関連計画	・・・	3

第2章 交通を取り巻く環境の変化

1	交通を取り巻く社会情勢	・・・	7
	（1）人口と移動の減少	・・・	7
	（2）人生 100 年時代の到来	・・・	8
	（3）大規模自然災害への懸念	・・・	9
	（4）地球温暖化の懸念	・・・	10
2	交通の現状	・・・	11
	（1）公共交通ネットワーク	・・・	14
	（2）道路ネットワーク	・・・	16
	（3）代表交通手段割合	・・・	17
	（4）歩行者・自転車交通量	・・・	17
3	都市構造	・・・	18
	（1）名古屋市の都市構造	・・・	18
	（2）名古屋市の交通ネットワーク	・・・	20
4	新型コロナウイルス感染症拡大による影響	・・・	24
	（1）感染拡大の影響	・・・	24
	（2）公共交通利用者の減少	・・・	25
	（3）コロナ禍による交通行動の変化	・・・	26
5	リニア中央新幹線の開業によるスーパー・メガリージョンの形成	・・・	27
	（1）7,000 万人交流圏の誕生	・・・	27
	（2）インバウンド需要の動向	・・・	28
	（3）移動の喚起	・・・	29
6	交通における今後の動向	・・・	30
	（1）新たな移動手段と仕組みの導入	・・・	30
	（2）交通需要の最適化について	・・・	33
	（3）自動運転社会に向けて	・・・	34
	（4）DX（デジタル・トランスフォーメーション）の加速化	・・・	35

第3章 将来における交通の基本理念と基本方針

1	基本理念	・・・	37
2	基本方針・施策の方向性	・・・	37
	（1）基本方針の設定	・・・	37
	（2）施策の方向性の設定	・・・	37
3	基本理念・基本方針・施策の方向性の関係性	・・・	41

第4章 「最先端モビリティ都市」の実現に向けて

1	昨今の交通環境の変化	・・・	43
2	本市が目指す交通の将来像	・・・	44
3	「最先端モビリティ都市」とは	・・・	44
4	最先端モビリティ都市の実現に向けた4つの展開	・・・	45
5	4つの展開に基づく取組	・・・	46
	展開1 リニア中央新幹線の開業に向けた広域交通環境の形成	・・・	48
	展開2 持続可能な公共交通ネットワークの形成	・・・	54
	展開3 まちづくりと連携した多様な道路空間の形成	・・・	60
	展開4 地域のニーズに応じた移動環境の形成	・・・	66
6	施策の方向性と取組の関係性	・・・	71

第5章 名古屋交通計画 2030 の実現に向けて

1	名古屋交通計画 2030 の今後の進め方	・・・	73
2	4つの展開に基づく取組の推進プログラム	・・・	73
	展開1 リニア中央新幹線の開業に向けた広域交通環境の形成	・・・	74
	展開2 持続可能な公共交通ネットワークの形成	・・・	81
	展開3 まちづくりと連携した多様な道路空間の形成	・・・	88
	展開4 地域のニーズに応じた移動環境の形成	・・・	94
3	計画の目標	・・・	98
4	推進体制と進捗管理	・・・	99

資料編

1	「名古屋交通計画 2030」策定の経緯
2	諮問書
3	答申書
4	パブリックコメントの概要
5	名古屋市交通問題調査会委員
6	名古屋市交通問題調査会条例
7	なごや新交通戦略推進プランの成果目標と達成状況
8	用語集

本計画の構成

第1章 名古屋交通計画 2030 の策定にあたって

(P1)

・目的 ・これまでの取組 ・計画の位置づけ

第2章 交通を取り巻く環境の変化

(P7)

交通を取り巻く環境

- 交通を取り巻く社会情勢
- 交通の現状
 - ・公共交通ネットワーク
 - ・道路ネットワーク など
- 都市構造、交通ネットワーク
- 新型コロナウイルス感染症拡大による影響
- リニア中央新幹線の開業によるスーパー・メガリージョンの形成

交通における今後の動向

- 新たな移動手段と仕組みの導入
- 交通需要の最適化について
 - ・駐車マネジメント
 - ・パークアンドライド
 - ・ダイナミックプライシング
 - ・MaaS
- 自動運転社会に向けて
- DXの加速化

第3章 将来における交通の基本理念と基本方針

(P37)

基本理念

持続可能な都市の発展に向けて、
まちづくりと連携した**誰もが移動しやすい**総合交通体系を形成します。

<基本方針1>

安全・安心で
環境にやさしい交通

- ① 安全に安心して移動できる交通体系の実現
- ② 災害に強い交通体系の実現
- ③ 環境にやさしい交通体系の実現

<基本方針2>

わかりやすく、
使いやすい交通

- ① 公共交通を中心とした持続可能な交通体系の実現
- ② 先進技術の積極的な導入による利便性の高い交通体系の実現
- ③ ユニバーサルデザインの移動環境の実現

<基本方針3>

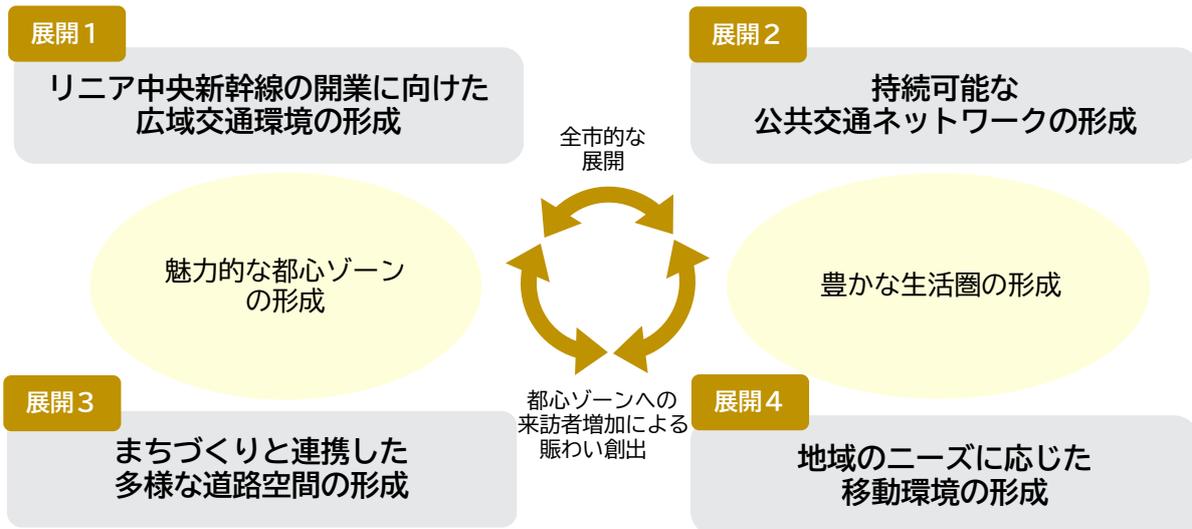
名古屋大都市圏の
成長を支え、
交流を促進する交通

- ① 名古屋大都市圏の成長を支える広域交通ネットワークの機能強化
- ② 名古屋駅のスーパーターミナル化をはじめとした交通結節拠点の機能強化
- ③ 人が中心の歩いて楽しいにぎわいのあるまちの実現

＜最先端モビリティ都市 ～誰もが快適に移動するために～＞

名古屋大都市圏における中枢都市として、**既存ストック**と**先進技術**の活用により、リニア中央新幹線とシームレスにつながる持続可能で質の高い公共交通ネットワークが形成されるとともに、さらなる技術の活用による快適でスマートな移動環境が実現した都市

最先端モビリティ都市の実現に向けた＜4つの展開＞



早急を実施する重点的な取組

- | | |
|--|--|
| <p>展開1</p> <ul style="list-style-type: none"> ●名古屋駅周辺における交通機能の強化 ●回遊性を高めるための新たな路面公共交通システム「SRT」の導入 <p>展開3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沿道・界隈と連携した歩きたくなる都市空間による賑わいの創出 ●自動運転社会を見据えたインフラ側での対応 | <p>展開2</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガイドウェイバス（GWB）への自動運転技術の実装を契機とした需要の高い基幹的公共交通の機能強化 ●地域公共交通計画の策定 <p>展開4</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ラストマイルを担う交通手段などについて考える地域主体のまちづくりの推進 ●公共交通空白地への移動手段の導入 |
|--|--|

- ・ 今後の進め方
- ・ 推進プログラム
- ・ 計画の目標
- ・ 推進体制と進捗管理

